

令和7年度 第1回大和市下水道運営審議会会議録（抜粋）

【開催日時】 令和7年7月3日（木） 午前10時30分～午前11時30分

【開催場所】 市役所 会議室棟 202会議室

【出席状況】 委員9名（欠席2名）：

堀合研二郎会長、扇原博委員、関水秀樹委員、
古川久美子委員、西岡久子委員、大谷勝也委員、
長谷川幸江委員、峯隆真委員、鈴木恭子委員

市側5名：

環境共生部長、下水道経営課長、下水道・河川施設課長、
水質管理センター所長、ほか担当職員2名

【公開・非公開の状況】 公開 非公開 一部非公開

【傍聴人】 0名

【審議又は検討の経過及び結果】

●会議次第：1 挨拶

2 委員紹介等

3 議題

(1) 会長の選出について

⇒委員の互選により、堀合委員が会長に選任された。

会長が扇原委員を職務代理者に指定した。

(2) 下水道事業のあらましについて

⇒大和市の下水道により、概要説明を行った。

(3) 大和市下水道ポスター展の審査員について

⇒堀合会長と長谷川委員に決定した。

4 その他

●主な質疑内容の要約：

3 議題

(2) 下水道事業のあらましについて

(委員)

① 質疑：本市におけるPFASの数値は基準値を超えているのか。

(事務局)

① 答弁： 県の調査において、引地川の一部でPFASが基準値を超えているところがありましたが、本市の下水処理場の処理水は、全て境川へ放流しています。

下水処理場の処理水については、国がふっ素化合物の基準値を定めているため、処理水についてふっ素化合物の検査を行い、基準値をクリアしています。

なお、処理水における PFAS については、国の基準値がないことから、検査は行っていません。

(委員)

② 質疑：八潮市の陥没事故を受けての調査と実態は。

(事務局)

② 答弁： 国から事故直後に直径 2 m 以上の汚水管について、3 月には雨水管及び合流管を含めた直径 2 m 以上かつ平成 6 年以前に造られた下水管について調査依頼がありました。

事故直後の調査は、本市では対象となる汚水管はありませんでしたが、職員により、マンホール内の調査等を行い、問題はありませんでした。

3 月に依頼があった調査については、雨水管及び合流管が市内各所にあるため、委託による調査の手続を現在進めています。

(委員)

③ 質疑：調査はいつまでか。

(事務局)

③ 答弁： 令和 8 年 2 月中の報告を求められています。

(3) 大和市下水道ポスター展の審査員について
質疑なし。

(4) その他

(委員)

① 意見： 前回の下水道使用料改定の審議に参加しましたが、短期間で会議の開催がタイトでした。次回の使用料改定時は、余裕を持ったスケジュールとした方が良いと思います。